

『平成24年度ふれあい事業 奥大山 蝶と草花の自然観察会』

実施日時：平成24年7月8日（日） 10：00～13：00

※悪天候による順延のため、予備日に実施。

場 所：大山隠岐国立公園 鏡ヶ成集団施設地区（鳥取県日野郡江府町御机）

参加者：2名（募集定員20名） ※悪天候による順延のため、8名のキャンセル。

天 候：少雨／曇り

内 容： 大山隠岐国立公園の鏡ヶ成湿原は、鳥取県内では稀少な標高900mにある山地湿原です。また湿原に隣接するように草原が広がっています。

講師に佐々木英之氏（山陰むしの会・鳥取昆虫同好会）を迎え、鏡ヶ成の湿原・草原に生息する蝶や草花の観察会を実施しました。当日は蝶の観察会にはあいにくの涼しい天候になりましたが、ウラギンヒョウモンを始め、ヒメシジミやゴイシシジミといったシジミ蝶の仲間や、ヒメキマダラヒカゲやクロヒカゲといったヒカゲ蝶の仲間、アサギマダラ、イチモンジセセリも観察できました。参加者の皆さんは、佐々木講師の解説を感心して聞いていらっしゃる様子でした。また、鏡ヶ成の蝶や草花にカメラを向け、写真撮影を楽しんでいらっしゃいました。

実施風景



<始まりのあいさつの様子>

自然保護官による国立公園の簡単な解説がありました。



<講師による網の使い方のレクチャー>

今回は観察のために、一時的に蝶を捕まえます。蝶を傷つけないために、無理のない網の使い方を教わりました。観察が終わると、もちろん蝶を放します。



<ウラギンヒョウモン>

始めに見つけたのがウラギンヒョウモンです。

当日は、蝶の観察にはあいにくの涼しい天候でしたが、ウラギンヒョウモンは多く見ることができました。



<散策の様子1>

講師による解説を聞きながら、散策を行いました。蝶を始め、どんな生き物が潜んでいるか、皆さんで探しながら進みます。



<ヒメシジミ>

鏡ヶ成の草原に生えるノアザミに吸蜜にやってきたヒメシジミを多く観察できました。閉じた翅の模様もきれいですが、翅を広げると光沢のある青色が光に反射しとてもきれいで、参加者の皆さんもその姿を楽しんでいらっしゃいました。



<ササユリ>

観察会では、鏡ヶ成の植物も多くみることができました。中でもササユリの大きな花は目を引きました。

(大山隠岐国立公園指定植物)



<カノコソウ>

鏡ヶ成の草原ではカノコソウも観察できました。大山隠岐国立公園の指定動物であるウスイロヒョウモンモドキの食草としても知られています。



<モリアオガエルの卵>

水面近くの樹木には、モリアオガエルの卵も観察できました。卵塊の中には小さな白い卵も確認できました。



<散策の様子2>

ノアザミなどの花に吸蜜にやってきた蝶を撮影しようと、皆さん真剣な様子でカメラを向けていらっしゃいました。涼しい天候のため蝶の動きは鈍かったため、良い写真が撮れた様子です。